

令和6年度寒河江市地域コミュニティ活性化推進事業一覧
(地域よろず応援事業)

No.	事業名	実施主体	事業の内容
1	白岩城址保全事業	白岩城址守り隊	多くの遺構が存在し、訪問者も増えているが、近年、雑木や雑草が繁茂し、遺構の存在が判然としない所も多く見受けられるようになってきた白岩城址の保存を図り、これを後世に伝えていくとともに、この郷土の宝を活用し、交流人口の増加を図りながら地域活性化につなげていく。
2	『末広公民館元気ひろば交流拡大』事業	末広公民館末広会	冬季以外の週2回、「いきいき100歳体操」のCDビデオを観ながら実践し、健康増進を図る。
3	谷沢の歴史を語る会	谷沢の歴史を語る会	地元の歴史についての情報を収集し、新たな調査を加え、「会報」という形にまとめ上げ、地域に散布し広く目を通してもらうことで自然と歴史を学び、次世代に継承していくとともに、自分たちが住む場所がどういった土地なのかという点で認識を共有してもらい、郷土愛の精神を育み、地域づくりの一助になることを目的とする。
4	紅花園はなさく70プロジェクト	慈恩寺観光振興会	かつて地域の特産品であった紅花の栽培を地域住民自らが栽培し、その原料を用いて本山慈恩寺の例大祭で奉納される慈恩寺舞楽の衣装製作を試み、慈恩寺舞楽の新たなストーリーとして魅力を発信する。地域が協働で慈恩寺舞楽の新たなストーリーを創出することで、世代を超えた地域文化の継承・発展へとつなげ、慈恩寺地区への更なる誘客へ結びつけることを目的とする。
5	平塩区夏祭り交流拡大事業	平塩区	昨年度4年ぶりに開催した平塩区の夏まつりに、今年度は新たなメニューも追加するとともに、臨時トイレの増設や照明器具の追加等により環境改善にも取り組み、より多くの地区民と子どもの参加を促し、区民や子どもたちの記憶や思い出に残る祭りを目指す。そして、子どもから高齢者まで地区民の交流を推進することで、地域で互いに助けあう共助の暮らしやすさを実感してもらい、Uターンなどにより若者が回帰しやすい地域づくりを目的とする。

6	臥竜橋町会夏まつり交流事業	臥竜橋町会	昨年、コロナ禍前には例年実施していた夏祭りを再開したが、参加者が約半数にまで減少し、地区内のコミュニティが希薄になってしまっていることを実感した。そこで、今年度の夏まつりは新たに世代間を超えて交流できる場として、地区民が交流できるゲーム大会・抽選会などを実施することで、多くの地区民の参加を促し、地区民や子どもたちの記憶や思い出に残る祭りへと盛り上げたい。世代を超えた交流を推進することで地域の温かさ、暮らしやすさを感じてもらい、コミュニティの活性化を目的とする。
7	第17回鹿島町会夏祭り交流事業	鹿島公民館長	子どもたちから高齢者までの世代交流を深める夏祭り事業を通して、鹿島町住民の親睦と融和を図る。交流を深める場として、大人向けに「ビアガーデン」、子どもたち向けに「輪投げ大会」「じゃんけん大会」等のイベントを行い、「夏休みの夏祭り」を肌で感じてもらう体験を提供する。普段触れ合うことのない世代との交流促進を通じて、鹿島町の地域コミュニティの活性化を図る。
8	麓地区交流夏まつり事業	麓若者会	日頃から、若者会の活動に協力していただいている地区住民のみなさまへ地域内での憩いの場を提供する地域貢献事業として、ならびに次世代の若者会会員になるであろう地域の子どもの育成のため、楽しく健やかな思い出をつくり郷土愛を深める場とすることを目的にする。地区住民の6割以上の参加を目標とする。
9	上下八鍬町会夏祭り交流事業	八鍬公民館長	「家族みんなで夏祭り」を合言葉に、老若男女問わず世代を超えて交流を深める場として、大人向けに「ビアガーデン」、子どもたち向けに「射的」「くじ引き」等のイベントを行い、「夏休みの夏祭り」を肌で感じてもらう体験を提供する。普段触れ合うことのない世代との交流促進を通じて八鍬地区の地域コミュニティの活性化を図る。
10	八鍬地区民登山	八鍬区	世代間を超えて交流を深める場として、動員型事業ではなく、自主参加型事業を実施する。また、この事業の準備のために、参加者が日ごろから屋外でのウォーキングなどに取り組むことで健康促進を図ることを目的とする。
11	令和6年度島区50回記念盆踊り大会	島区	今年は昭和46年の第1回から数えて50回目を迎え、記念大会として「地域住民の話のタネになる・楽しみ・待ち遠しい」と思える盆踊りにしたいという思いから公民館運営委員会を中心に企画検討を重ねた。山形市出身演歌歌手の工藤綾乃さんをゲストとして迎えることになった。昨年の参加者数を大幅に上回る1,000名の来場を目指す。

12	たしろ夏まつり交流会	田代地域づくり推進協議会	地区の活性化は必要不可欠と思われるなかで地区の高齢化率は60%に達している。世代間交流の機会も少なく、地域参加意識も希薄になっているところで、地区役員と世代間幅広く各種地域役員棟から協力を得て、盆帰省客と地区民との交流の場を作ることで地域の活性化を図る。
13	金谷区夏祭り	金谷区	盆踊りがなくなり減少した区民の安らぎの場、子どもたちの拠り所を作る。子どもたちや地域住民の記憶や思い出に残る祭りを目指し、地域の活性化を図る。
14	本楯地区夏祭り	東部地区公民館 本楯分館	地域住民同士の交流を深めるとともに、地域の活性化と住民の元気を創出することを目的とする。コロナ禍で希薄となりつつある地域交流において、夏祭りの開催はさまざまな世代が集まり、楽しい時間を共有することで地域の結びつきを強め、住民の一体感を醸成します。また、地域の文化や伝統を再確認し、次世代へ伝える機会を提供する。
15	松川区夏祭り	松川区	10年弱地区での夏まつりが開催されていないという現状で地区民の交流が少なくなり活力がなくなっているように感じている。そこで今年度新たに夏まつりを再スタートさせるということで企画し、地区民の交流を促進し活性化を図る。
16	納涼幸生ふれあい夏祭り交流会	幸生区	新型コロナウイルス感染拡大により、中止を余儀なくされていた幸生地区の夏祭りを4年ぶりに復活し幸生区民の交流の活性化を図る。 また、今回の夏祭りでは旧幸生小学校の跡地であるスケートボード練習施設の利用者に夏祭り参加を呼びかけ、幸生町会と利用者の交流の場をつくることで幸生地区の関係人口増加を図る。
17	舟橋地区盆踊り大会・子供夏まつり事業	舟橋公民館	舟橋地区では区民等の交流と親睦を目的として、かねてより「舟橋地区盆踊り大会」を行っている。しかし、高齢化や世代交代、新型コロナの影響などもあり、盆踊り大会の運営についてより一層の活性化が求められるようになってきている。 そこで、盆踊り大会当日に、育成部や2つの子供会の参加も得ながら、子ども達も喜んで参加できるメニューを組み入れた事業を新たに企画し実施する。子どもから高齢者までのより一層の交流も深まり、それが地域全体の活性化にも繋がることを目的とする。

18	島平成会灯籠流し	島平成会	世代間の交流を図り、幼少期の夏休みの思い出作りや、島平成会の事業への理解を深めてもらうことで、地域活性化のきっかけとしたい。
19	木ノ沢区班対抗ボッチャ大会および自主防災活動研修会	木ノ沢区	ボッチャ大会を通して楽しみながら寒河江区民と大江区民の地域内親睦交流と健康増進を図る。木ノ沢区指定避難所である柴橋地区コミュニティセンターに避難所が開設された場合の避難所運営について、現地にて実体験形式で研修会を実施し、より多くの区民の方と自主防災知識の共有を図る。